

令和6年10月28日

市政記者各位

福岡市住宅都市局一人一花推進部動物園

アジアゾウの全面公開時期の見込みについて

ゾウの全面公開時期については、約3か月の「馴らし期間」を経た令和6年10月末頃を予定しておりましたが、下記のとおり準間接飼育への移行に時間を要していることから、1か月程度延期をいたします。

公開を楽しみにしていただいている皆さまには申し訳ありませんが、ゾウたちがこれから福岡で長く過ごしていくにあたっての大事な時期ですので、どうかご理解くださるようお願いいたします。全面公開の日程が決まりましたら改めてお知らせしますので、広報へのご協力よろしく申し上げます。



記

1. 全面公開時期決定の考え方について

ゾウの馴らし期間としては、以下の3ステップが必要であるため、準間接飼育への移行完了のめどが立った時点で、全面公開時期を決定したいと考えております。

(当初はそれぞれのステップに要する期間を1か月程度(計3か月程度)と見込んでおりましたが、ゾウの受入から約3か月が過ぎた現時点での進捗状況は、ステップ3に入ったところと予定より1か月の遅れが生じているため、全面公開の時期についても1か月程度延期となる見込みです。)

<参考>ゾウの馴らし期間のステップ

ステップ1 ゾウを福岡市動物園の施設に馴致する

- ・新しい環境になれるため、まずは、気候や施設、寝室などに慣れさせ、ゾウが落ち着いて過ごせる状況を作る。

ステップ2 ゾウと飼育担当職員との関係構築

- ・マフーがゾウを制御している状態で、飼育担当者がゾウに触れる、エサを与える等から始め、丁寧に信頼関係構築し、その後、マフーの補助を受けつつ、飼育担当者が、基本的なゾウの制御を試していく。

ステップ3 飼育担当職員によるゾウ制御(準間接飼育)への移行

- ・マフーはゾウと同じ空間に入ってケアを行う(直接飼育)が、福岡市動物園では、檻越しにゾウのケアを行うため、マフーも直接飼育をやめて、飼育担当者と一緒に檻越しのケア(準間接飼育)に移行する。
- ・最終的には、マフーが関与せず飼育担当者のみで基本的なゾウの制御が可能となるようにする。



2. その他

- ・馴らし期間の延長にあわせて、ミャンマーから来ているマフー・獣医の滞在期間も延長の予定です。
- ・ゾウの名前(決選投票結果)については、全面公開時に発表いたします。

<問い合わせ先>

福岡市住宅都市局一人一花推進部
動物園 園長 川越
電話：092-531-1960